

公益財団法人

栃木県ひとり親家庭福祉連合会



宇都宮市野沢町4-1

TEL 028(665)7806

発行人 栗橋幸子

印刷所 高橋平版社

白梅

ごあいさつ

栃木県保健福祉部長

森澤 隆



昨年六月に、栃木県保健福祉部長

に就任いたしました森澤でございます。公益財団法人栃木県ひとり親家庭福祉連合会機関誌「白梅」の刊行に当たり、一言ごあいさつを申し上げます。栗橋会長をはじめ、理事の方々や会員の皆様には、ひとり親家庭等の方々の生活の安定と福祉の向上に向けて、日頃か

ごあいさつ

栃木県ひとり親家庭福祉連合会

会長 栗橋 幸子



今年、ひとり親家庭福祉連

合会が設立し七十周年の節目を迎える年です。戦争未亡人たちにより「白梅会」として産声を上げてから現在に至るまで、ひとり親家庭の相互扶助と自立支援を目的に一貫して活動してまいりました。また、子育てを終えた寡婦は地域を支えるメンバーとなり、若いひとり親家庭をサポートす

ら、一方ならぬ御尽力をいただいております。改めて深く感謝を申し上げます。

さて、平成二十八年の国民生活基礎調査によりますと、児童のいる世帯の平均稼働所得が六四七万円であるのに対し、母子世帯は二一四万円と三割程度にとどまっており、ひとり親世帯の五〇・八％は相対的貧困世帯であるほど、ひとり親世帯の生活は依然として厳しい状況にあります。

また、平成二十八年に厚生労働省が実施した全国ひとり親世帯等調査においては、母子世帯の八一・八％が就業しているものの、正規の職員・従業員での雇用は四四・二％にとどまっており、ひとり親家庭の親に対し

る側に回り信頼される会づくりを目指してきました。

現在は、設立当初とは異なり絶対的貧困は減少しましたが、新たに経済、貧富、教育等、様々な分野で格差が生まれ、相対的貧困が問題化してまいりました。これに対し、徐々に対策すべき制度はできつつありますが、決定的な打開策を見ないまま現在に至っております。

しかしながら、国も「子ども」の将来がその生まれ育った環境によって左右されることのないよう、貧困の状況にある子どもが健やかに育成される環境を整備するとともに、教育の機会均等を図るため、子どもの貧困対策を総合的に推進することを目的とした法律「を平成二十六年に施行するなど、段階的

より収入が高く安定的な雇用形態での就労につながる支援が必要となっております。

県では、平成二十七年三月に策定した「とちぎ子ども・子育て支援プラン」に基づき、ひとり親家庭への支援と貧困の世代間連鎖を防ぐことを目的とし、高等職業訓練促進給付金等の各種給付金事業や母子家庭等就業・自立支援センター事業を実施するなど、ひとり親家庭の自立に向けた各種支援施策に取り組んでいくところであります。

特に、平成二十七年年度から四年間の予定で貴連合会へ助成して参りました「ひとり親高等職業訓練促進資金貸付事業」につきましては、就職に有利な資格の取得支援のため、平成三十一年

あります。制度は整いつつあります。

さらに、二〇一七年十二月に「進学率の低い所得家庭の子どもたち、真に必要な子供たちに限って高等教育の無償化」を含む新経済政策パッケージが閣議決定し、二〇二〇年四月から実施されることになりました。学費のみならず、生活費の助成も含まれることとなるので、具体的な内容が考えられるのが楽しみです。この考え方は「官」だけでなく「民」においても、ローンの「夢を応援基金（支給型奨学金）」などで広がっており、心強い限りです。

私たちの会も、ひとり親の就業支援、生活支援に加え、子どもの学習支援活動を展開しております。

（二〇一九）年度からさらに四年間継続して事業を行うこととしたところであります。

今後、貴連合会と連携しながら、ひとり親家庭への就業支援等、各種事業の効果的な実施に向けて取り組んで参りますので、御協力をお願い申し上げます。

結びに、貴連合会におかれましては、ひとり親家庭の総合的な福祉を推進する県内唯一の母子・父子福祉団体として、ひとり親家庭の生活の安定と向上のため、より一層御尽力いただくことをお願い申し上げます。また、栃木県ひとり親家庭福祉連合会の今後益々の発展を御祈念申し上げます。ごあいさつとさせていただきます。

それにしても、このような支援策がありながら、活用されていない方が少ないのはなぜでしょう。情報が伝わらない、利用しづらい等、何らかの原因があると思われまます。一人でも多くのひとり親家庭が支援制度を活用し、自立できたらと願っております。

ロケットが地上を飛び立つとき、最大限にエネルギーを出して安定した軌道に乗ります。負のスパイラルから抜け出るには、親子で自分の持っている力を最大限に出すことが大切です。私たちの会が、設立以来発信してきた大切な言葉は「わが幸せはわが手で」です。様々な施策、制度等、使えるものはすべて使い幸せに向かつて飛び出してください。応援しています!!

地区だより

足利市

M・M

平成三十年七月、夏の親子招待事業で埼玉県に在るお菓子の工場「グリコピア・イースト」に工場見学に行きました。

バス二台、母子寡婦総勢七十名程の参加者です。以前から工場見学に行つて見たいという会員さんの希望もあり、日曜日でも見学可能な工場を探して行つてきました。

ここではポッキーを主に製造しています。最初に工場の説明を受けてから工場内を見て回りました。オートメーション化されていて、検査する人や手作業をしている人もいましたが人数は少なかったです。工場中甘い香りで一杯で大人も子どもも興味津々で目の前をポッキーが箱づめされて流れて行く様子を見学しました。帰りには見学者全員にお土産を頂きました。

中庭にある売店でグリコのお菓子や色々なグッズを買い、楽しい工場見学になりました。昼食は川越に移動し、ホテ

ルのバイキングを食べました。午後は川越の街を散策しました。その日は丁度夏祭りで、大勢の人が出ていて歩くのも大変でしたが、車を通行止めにしてお祭り一色でした。お菓子横丁を見て歩き暑かったのでかき氷などを食べてお土産も買いました。お寺へ行って御朱印を頂いた方もいました。皆さんそれぞれ楽しい一日を過ごせたと思います。

那須烏山市

高田 クミ

那須烏山市母子寡婦福祉会では、十二月二十四日十時から烏山公民館の調理室と一〇四号室をお借りして、「親子ふれあいの集い」クリスマスケーキ作りを実施致しました。丁度クリスマススイブということもあり、子どもの参加と多くの方に参加いただき、平均年齢が若くなった集いでした。いちごも前年より安かったので沢山飾って豪華なデコレーションケーキが出来上がりました。試食会では「おいしいね♡」という声を聞きながら食べました。本当に美味しかったです。年々コツをつかんで砂糖の分量など正確になった様で成長が見られた一日でした。また、会計を担当してくださいって



那須塩原市

織田 敏枝

いる方が、いつも色々な御漬物を持ってきてくださり、今年もごちそうになりました。今後の課題としては、今年も若い方達の参加があまり得られなかったので、粘り強く連絡を取り家庭訪問を行つていこうと考えております。

那須塩原市では、毎年恒例のクリスマス会でケーキ作りを実施してきましたが、平成三十年度は十二月二十二日に足利フラワーパークのイルミネーションを見に行き、足利学校も見学しました。毎年ケーキ作りを楽しみにしている会員さんもおりますが、子供が中学生になり親子

揃つての参加が難しくなってきた。参加しないという会員さんが増えてきたため、今回は新たな試みということで実施しました。参加された会員の方には喜んで頂けたと思っております。また、二月三日には新年会を実施しました。会員の息子さんが津軽三味線の奏者になりたいと頑張つておりますので披露して頂きました。とても素晴らしい感動しました。これからも応援したいと思います。

学習支援事業も講師の方々に恵まれて、大変喜ばれております。今後は中学生は勿論ですが、小学生にも普及して実施できればと思っております。

那須塩原市ひとり親家庭福祉連合会では、まず行事に参加して頂き会の良さをアピールし、知つて貰えればと思っております。



益子町

小薬 静子

毎年十一月の第二土曜日は、福祉祭りましこふれあいフェス

タが開催されております。益子町母子寡婦福祉会は、焼そばを販売して売上げを社会福祉協議会に寄付してきました。今年度は十一名がボランティアに協力してくださいました。当日の天気や人出を予想し、材料等を注文して完売できる様にしています。天気に恵まれ完売できた時は本当に嬉しくなります。前日にキャベツといか下足を切り当日は八時半から準備をして仲間と協力しながら焼そばを焼きパック詰めします。ボランティアが初めての方に楽しかったと言われた時は本当に良かったと思えます。

会のこれからとしては新年会があります。行事には皆さん協力してくださいますので助かっております。



下野市

木村 安子

下野市ひとり親家庭福祉会では、十二月のクリスマス会でケーキ作りを行いました。二回目なので皆さん慣れた手つきでケーキを作りあげました。ケーキと一緒にカメラでパチリ！世界にひとつだけのケーキはそのまますお土産として持ち帰りまし

鹿沼市

佐野 佑紀子

平成三十年十月、鹿沼市ひとり親家庭福祉会では親子でピザ作りを行いました。市内の交流センターに子ども二人と参加しました。同じテーブルになったお子さんが上の子と同年ということもあり、とても楽しく作業できました。

十一月は市の事業でドイツニールランドに初めて参加しました。夕方にはバスで帰るため短い滞在時間で物足りないかなと思いましたが、翌日からだに無理もなく、子ども達も満喫して楽しんでいたので良かったです。

十二月は社会福祉協議会助成事業としてクリスマスケーキ作

た。それと会員手作りのクリスマスカードもプレゼント。カードにはクリスマスの絵が書かれていて童心に帰りウキウキと楽しいひと時でした。カードにはプレゼント番号が書かれていてそれぞれプレゼントを貰いました。その後、近くの飲食店で食事をして解散しました。



りを行いました。この事業は下の子がおんぶの頃からお世話になっていて毎年楽しみにしている行事の一つです。

楽しく親子のコミュニケーションが取れる活動ができること、この様な場を用意していただき感謝しております。鹿沼市ひとり親家庭福祉会の役員の皆様、本当にありがとうございます。



ぜひ日光へ

山口 絹江

世界文化遺産である日光東照宮に向かう日光市街のメインストリートは、現在歩道を広げるため古い店舗や民家を壊してきれいに整備され、新たな人が出店したりして店が多くなり随分と変わってきました。

今回私も街を歩いて来たのですが、着物をレンタルし替えて街を歩ける喫茶店「かりん」(こちらは雨でも大丈夫だそうです)、「餃子のうめちゃん」、焼きそば「晃のや」、日光生どら「栃木雲ーZU」、「日光プリン亭」、立ち飲みビール店やピザ屋等：まだまだ新しい店が出来そうです。

また、日光市本庁舎や日光市消防署も新しくなりました。旧日光市役所は築約百年を誇る建物として建築されました。進駐軍の社交場として使われた後、旧日光町へ寄付され行政庁舎となりました。和洋折衷の木造四階建てでお城の様な外観が特徴の、国登録有形文化財と近代産業遺産であり、今後は建物の外観を補修するなどして保存し、公園として整備に取りかかり、二〇二一年にオープンしたい考えとの事です。只、耐震基準を満たしていない事などから、内部の使用公開は当面見送る方針です。皆さんも是非新しい日光の街を歩きにいらしてください。

二〇一九年度 行事予定

- 介護職員初任者研修 5月19日～12月8日
- 巡回相談 県内各市及び4地域 6月から順次開催
- ひとり親家庭福祉研修大会 7月7日～7月8日
- 医療事務研修 8月3日～11月11日
- 県民福祉のつどい 8月29日
- パソコン研修 9月14日～12月7日 ※日程は変更になることもあります。
- 全国研修大会・関東ブロック研修大会 10月26日～27日 神奈川県川崎市
- 親子ふれあい会 10月5日
- サポーターのつどい 11月24日
- 家庭生活支援員養成研修 1月18日～2月15日 土曜コース 1月19日～2月16日 日曜コース

学生の声

初任者研修を受講して

伊藤 悦子

私が初任者研修を受講したきっかけは、「県民だより」に掲載されていた募集記事を目にしたことからでした。

以前から介護に興味があり、時間的に少し余裕ができたので受講させていただくことにしました。

講義では、介護に関する知識や技術は勿論のこと、介護に向き合う上での考え方、姿勢までも教えていただきました。介護は人と人との心の繋がりが大切なのだということ、施設利用者の方一人一人と向き合っていくこと。これからは介護の仕事だけでなく、他の仕事や対人関係にも通じることだと思えます。私は今回の研修で介護について、そして対人関係についても学ばせていただきました。だからこそ介護職は安易な気持ちで就く仕事ではないと思います。今回教えていただいた沢山のことは、様々な場面で活かしていきたいです。

ひとり親家庭福祉を対象にした研修会だったからこそ築けた縁やしつかり学ぼうとする熱意、今回吸収した全てを大切にしていきたいです。

最後に、七ヶ月間熱心にご指導くださいました先生方、事務局の皆様には大変お世話になりました。ありがとうございます。

介護職員 初任者研修を受講して

田村 眞依子

以前から介護職に興味がありましたが、現在の仕事の中で介護についての知識が必要となってきたので、今回思いきって受講しようと思いました。

最初は幼児二人を抱え、七ヶ月の間、無事に乗り切れるだろうかと常に不安でした。しかし、出席できない日程の振替ができたことや無料の託児サービスがあったお陰で大変心強かったです。また、学んだことの中には、日々の子育てにも活かせることが多く、子どもとの向き合い方を見直すきっかけにもなりました。

同じ境遇で同じ志をもつ仲間と、助け合い、励まし合いながら学び、無事に全員で終了できたことを大変嬉しく思います。この様な機会を作ってくださいました事務局の皆様、懇切丁寧なご指導をしてくださった先生方、本当にありがとうございます。

医療事務研修を受講して

片岡 靖子

契約社員の期間満了後を見据え、安定した仕事に就きたい、

安心して子育てをしたいと切望していた矢先、町からの案内で本研修を知り受講を決めました。半年に及ぶ講義の内容は思っていた以上にボリュームがあり、聞き慣れない用語も多く難しかったのですが、ご自身の体験談を交えながら懇切丁寧に指導くださった先生や細やかにサポートしてくださった事務局の方々のお蔭もあり、最後まで通い続けることができました。また、それぞれの状況に違いはあれど、現在ひとり親という共通の境遇の中、家事に仕事に育児にとやりくりしながら学んでいる同志の皆様には「私ひとりではない、頑張ろう。」と幾度となく励まされました。まだまだ勉強不足を痛感しておりますので、今後も身に付けた知識を深め活かせる様に努力して行きたいと思っております。この様な貴重な機会を与えてくださった皆様方へ深く感謝いたします。ありがとうございます。

家庭生活支援員 養成研修を受講して

森尻 真理

私は、日曜日コースを受講しました。

一日目は「救急時の対応と応急処置」についての講義でした。救急時の簡単な加湿器の作り方を教えて頂きました。ペットボトルとタオルとお湯ですぐに作れるので、とても便利だと思いました。

事務局相談員の異動

*退職

清水 道子
前田 智恵美

お世話になりました。

*新任

野澤 恵江
石井 佳子

よろしくお願いいたします。

編集後記

寒かった冬が過ぎ、やわらかい陽ざしに温もりを感じる春が来ました。

平成最後の「白梅」をお届けする頃には新元号が発表されている事でしょう。新元号を希望と喜びで迎え、平成を感謝で送りたいと思います。

新元号に変わっても健康第一。健康の秘訣は笑うことだと聞きました。これからも笑顔になれる会の発展を願い活動して行きたいと考えています。

白梅の発行にあたりご協力くださいました皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。

〈広報部会〉

田口・齋藤・赤荻・山口
高田・木村・小葉・三田
織田・野呂

「白梅」は、赤い羽根共同募金配分金により発行しています。

